



ふくやま かずひと  
**福山和人** 弁護士  
 さんで

**「府民丸ごと全力応援」**

京都弁護士会副会長として  
 立憲主義を守る先頭に

1961年3月5日、京都市伏見区生まれ。宇治市で幼少期を過ごし、府立城南高校では野球部で活躍。立命館大学法学部卒業。2001年に弁護士登録。2015年度に京都弁護士会副会長。現在、労働弁護団幹事、自由法曹団常任幹事。ジャトコ偽装請負解雇・雇止め事件、関西建設アスベスト京都訴訟、大飯原発差止訴訟などを担当。京都市左京区在住。家族は妻と一男一女、母。

4月8日投票で京都府知事選挙が行われます。安倍政権の憲法改悪や戦争する国づくりへの暴走にストップをかけ、府民の暮らしを守る地方自治体ほんらいの流れをとりもどす絶好のチャンスです。

**いのちに寄りそい、憲法いかす**

現府政は、民間社会福祉施設への補助金を4億円近く削減する予算を提案する一方、北陸新幹線の延伸や新名神開通に伴う大型商業施設誘致など、ムダで府民に負担押しつけの大型開発を進めています。暮らしや福祉を守ることが必要です。福山さんは、”4つのつなぐ”で京都を変えると、保育・教育オール無償化、時給1500円実現など、いのちに寄りそい、憲法いかす京都府政の実現を訴えています。

**京都のことは京都できめよう**

福山弁護士は、戦争法廃止や市民と野党の共闘を求める運動から押し上げられた人です。一方の自民党主導の人は、安倍政治をささえてきた中央官僚で国と福島県による自主避難者への住宅無償提供を打ち切った前復興庁事務次官です。

**改憲・原発ノ一**

自民党らが推している人は、前復興庁事務次官として、国と福島県による自主避難者への住宅無償提供を打ち切った人です。福山さんは、大飯原発差止訴訟の弁護団をつとめるなど、原発再稼働反対・廃炉推進へ行動。

**つなぐ京都** ひと・なりわい・夢・未来



**個人・団体・政党が力ひとつに**

今、国会では、「働き方改革」や「森友・加計問題」「安倍内閣による9条改憲」に対して野党共闘がすすんでいます。

今回、戦争法反対のたたかいで野党共闘を求めてきた方々、長らく原発・感興問題に取り組んできた方々などが、民主府政の会とともに「つなぐ京都」を発足させ、福山和人さんを応援されています。記者会見には、福山和人さん、よびかけの五氏とともに、日本共産党京都府委員会の渡辺和俊委員長も参加し、あいさつしました。

